



相手への敬意・私の考える民主主義

園長 笛木 哲

個人面談アンケートありがとうございました。お子さんの成長している姿を私も共有させていただきました。課題については、幼稚園でも引き続き取り組む必要なものもありました。面談当日は、担任と忌憚のないご意見を交流していただきたいと思います。

さて、アンケートを読みながら、保育者が子どもを叱るとき、常に心に刻んでいる言葉を思い出しました。「失敗したこと、いけないことなど事実についてのみ叱るが、人格は否定しない。最後は必ず褒める。」ということです。大人の一方的な見方ではなく、子どもの世界での思考や立場などを理解（共感）した上で、子どもに保育者の思いを伝える（指導する）ことなしには、子どもは芯から納得しません。個人面談でも、保護者の皆様と保育者とがお互いに立場の違いを理解し、敬意を払った上で、それぞれの立場で対話して欲しいと願います。



民主主義において、民意を届ける一つの大きな仕組みが投票です。でも、一人ひとりのもつ力は小さくて、大きく強い力にへし折られてしまうことも多いものです。町長、知事、総理大臣、国連総長…と、民意から距離が離れれば離れるほど、届かぬ声を届けるために、「皆の声を届けよう」と声を掛け合い、力を結集する必要があるでしょう。

幼稚園の方針が合わないからアンケートに「〇〇を書こう」と呼びかける事は責められることではありませんが、こんなに身近にいるのに、直接、意見を言ってもらえないのは寂しいことです。それは、信頼を結ぶことができないほど幼稚園（園長）が開いていないということの証でもあり、反省させられました。多数決は民主主義において、物事をスムーズに決定するのに有効ですが、私の考えるの民主主義は、一人の小さな意見にも耳を傾けることだと信じています。多数の意見があっても、それで困る人がいるなら、多数の意見に反することも決断しなくてはなりません。保護者の皆様の合意を得ることもできず、皆様が思い描くような園運営になっていないことは、最終決断者の私の力不足です。

あるクラスをのぞいた時のことです。好きな色画用紙を選ぶ場面でした。4色用意した色画用紙のそれぞれの枚数は決まっています。10枚しかない青の色画用紙に13名が手をあげました。排除する3名を決めるためのジャンケンで落ち着くのかなと思ったら、一人の子が何度か挙げ掛けた手を最後に大きく挙げました。「紫にします」と。続けて二人も他の色に変更しました。色画用紙問題を我がこととし深く葛藤し、自分で自分の気持ちに折り合いを付け、勇気を持って手をあげ、意思を表明した3名はすごい子だなと感心しました。ご意見などありましたら、遠慮無くお知らせください。

子どものことば（保育日誌から）

- ・チューリップの球根を植える時、「タマネギみたいだね。」 土をかけて、ジョーロで水をあげ、土の中でおねむりすると白い根がでることを話すと「えーと。」と目を丸くしていた。教室に帰るとき、「明日チューリップの花が咲いているかな」

…目に見えないものを見ることはできないけれど、教室にあるヒヤシンスの水耕栽培の根が目に見えて広がることを知っているから、土の中の白い根を子どもなりに想像できるのです。



- ・さる、ぞう、とりの塗り絵をした時のこと。大人は、さるは茶色、ぞうは青や水色と頭の中で考えるけれど、子どもたちは、様々な色で塗っていた。

…大人はかつての経験から固定観念ができあがり、さるは茶色と決めてかかっているけれど、子どもの発想は無限大。こんなにも自由なのです。



- ・運動会での練習：「ホールの上まで花火（ボール）を飛ばそうね。」とパラバルーンの演技に盛り上がる。〇〇君「今度は宇宙まで飛ばそうね」とはりきっていた。

…子どもの夢は無限大。本気で思っているから出る言葉。運動会当日は風が強くて宇宙までは届かなかったけれど、ホールの屋根に届くくらいは飛んでました。



- ・運動会当日：（担任が）うっかりして退場の方向を間違えて指示してしまった。〇〇さん「先生は、悪くないよ。」と優しい言葉。

…入園当初は自分のことばかり考えていたのに、周りを見る目、相手の気持ちを考える気持ち、そして、優しい持ちを伝える言葉が育ってます。



園児が輝く時

※HPで「笑顔の子どもたち」を紹介しています。よろしかったらご覧ください。



運動会 新型コロナウイルス感染防止のために、ちゅうりっぷ組と年少組、年中組、年長組と三日間に分けて実施しました。風の強い日、雨を心配する日もありましたが子どもたちの熱意が天に通じたのか予定通り実施できました。お家の一人一人に限った参観でしたが、子どもたちは練習の成果を十分に発揮してくれました。



消防車来園 大好きな消防車を間近で見ました。憧れの本物の消防士さんから色々教えてもらいました。

秋の遠足 満3歳・年少中組は平成の森公園からこども動物自然公園へ目的地を変更し実施しました。

サツマイモ掘り 年長組の遠足は川越でサツマイモを収穫しました。大きなお芋にニコニコ笑顔がいっぱい！

